

SENDAI

# BUSINESS INTERVIEW



仙台市宮城野区苦竹に完成した「シティフォレスト宮城野ビル」の外観。耐震性や気密性に優れた「カナダ2×4工法」と集成材を活かした木造ハイブリッド大規模木造建物だ



環境循環型の木材を使用して「都市の中に木造建築で森をつくる」というセルコホームの企業アイデンティティを表した新ロゴ

と、カナダの部材と日本の最先端建築技術をミックスした点にあります。断熱効果が高い樹脂サッシや太陽光発電と蓄電池も設置、ビル内照明の電力をまかなうなど国が目標としているゼロエネルギー（ZEB）ビルを先取りしています。また地域の防災拠点として非常時にも対応、かまどベンチや下水と直結するトイレ設置も可能としました。弊社のこれからの考え方がすべて入ったビルなのです。

17年は御社の創立60周年を迎え



常務取締役 新本 考 氏

# 「シティフォレスト宮城野ビルが誕生。セルコのこれからのすべてが入ったシンボルに」

カナダ輸入住宅を供給日本一のセルコホーム(株)新本恭雄社長のこれからの方向性を象徴する木造大型商業ビル「シティフォレスト宮城野ビル」が7月7日完成する。計画段階から担当してきた新本常務取締役が新ビルの特徴や今後の同社の方向性について聞いた。

ル改築計画を契機に、大型木造ビル計画を進めてきました。

木造ビルの耐久性、耐震性、耐火性などは。

新本 当社が長年提供してきた輸入住宅の部材を供給しているカナダでは、公共建築物はすべて木造で建設するという法律が出来ており、病院や工場、事務所等も木造で建築されています。フィギュアスケートの浅田真央さんが金メダルを取った2010年カナダバンクーバー冬季五輪のフィギュアスケート会場となったパシフィック・コロシアムも木造大規模建築物なのです。日本では建築法規上まだ認められておりませんが、カナダでは現在18階

## 「木造ビルで都市に森を創り出したい」

来る7月7日に、仙台市宮城野区苦竹3丁目に「セルコホームシティフォレスト宮城野ビル」が完成します。ビル名のシティフォレストと命名した背景はなんでしょうか。

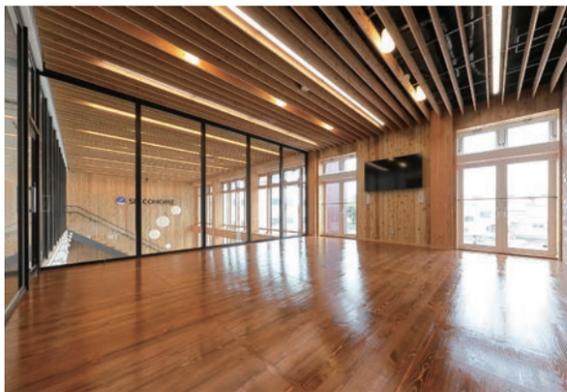
新本 端的に言いますと、都市の中に森を作りたいという、私どもの思いが込められています。日本の都市の中心部ビルのほとんどは、コンクリートか鉄で出来ています。その中に木造ビルを建てて森を創り出していききたいということなのです。

山で出来た木材を使ってビルを建

て、そしてまた山に植林をして木を育てるという環境循環型の材料が木材です。今は国家レベルで地球温暖化の深刻化で二酸化炭素削減に取り組みようになりましたが、これからは個人レベルで、地球環境、人間環境という未来を考えて行動していくことが非常に重要になっていきます。ビジネススマンが多々の時間を過ごすオフィスにもそうした考えが必要になっていきますので、東日本大震災で被災した旧仙台支店ビ



ビル内部は木の香りが充満しており、まるで森の中にいるような感覚に陥る



ます。今後の方向性は、新本 木造住宅、マンション、そしてカナダ住宅と20年サイクルで変化し

てきました。今後も社会から求められるニーズを先取りしながら、他社と差別化した戦略で貢献して参ります。

## 春のリフォーム大商談会に360組

### 「見て触れて、体験する」で大好評

住宅のリフォームに力を入れるセルコホーム単独による「春のリフォーム大商談会」が6月3、4日、仙台市の夢メッセ西館展示場で開かれ、2日間で360組の来場者が訪れた。単独開催2回目となった今回は「セルコリフォームを見て触って体験してもらう」のが特徴。クロス張替えや発泡吹き付け、塗り壁、ガーデニング、外壁塗装などの実演、体験のほか、全米ナンバーワンの「アシュレイ」家具が仙台で初めて展示販売されるなど、リフォームなどを検討中のお客さままで賑わった。

井上聡リフォーム部長は「弊社へのリフォーム工事への期待が大変多く、今後も内容をより充実させた展示会などを開催していきたい」と語っている。

